BOSE®

OWNER'S MANUAL

B-220

モービル・パワー・アンプ

この度は、ボーズ・モービル・パワーアンプB-220をお買い上げいただきましてありがとうございます。本機を正しく、また性能を十分生かしてお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、説明書は必要な時にすぐお読みになれるよう、保管されることをおすすめします。

特長

搭載で高能率な出力を達成。

仕事変換能率の優れた電源方式により、ステレオ使用時で定格110W、モノラル使用時でも275Wの高出力を達成。どんなスピーカーも余裕をもってドライブします。

●P・I・P・A回路の採用により、高出力を高いクオリティで提供

左右のチャンネルを完全独立させたP・I・P・A回路(Perfect Independence Power Amplification)を採用。フルパワー時の20Hz～20kHzにおいて、全高調波歪0.01%、SN比110dB以上を保証。高出力を高いクオリティで実現しています。また、立ち上がりの良さも抜群。デジタルソースへの対応も完璧です。

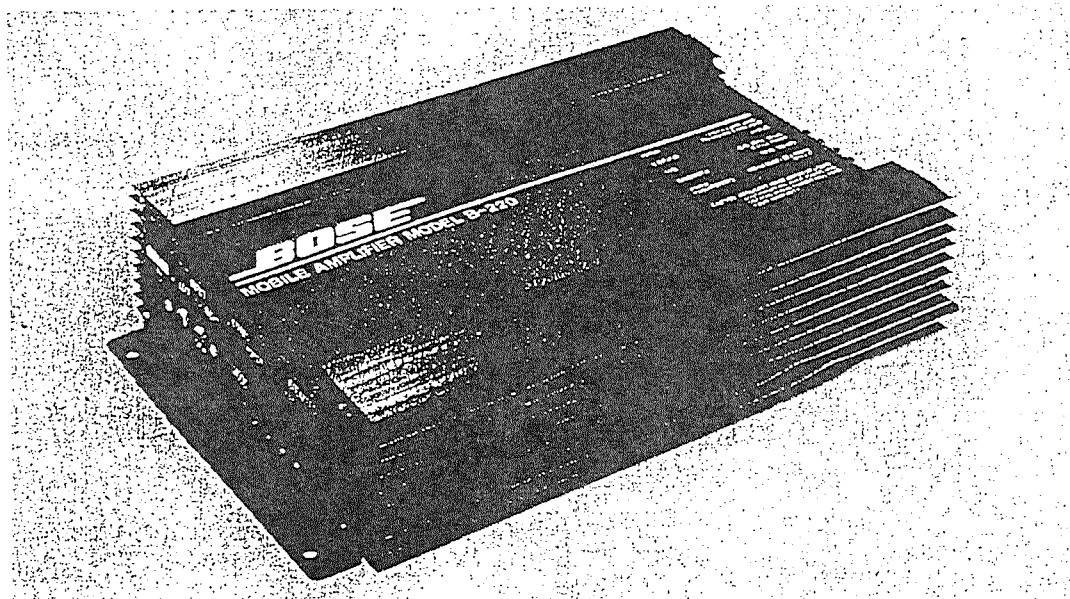
●チャンネル間の干渉をシャットアウト

L・Rの2つのチャンネル回路の基本パターンを左右対称化する独自の設計で、両チャンネル間の干渉による微少ノイズをシャットアウトしています。

●冷却効果の高い大型ヒートシンクを採用

アンプ内に発生する熱を高い冷却効果で放熱するので、帯熱する心配がありません。これにより、アンプの設置場所の選択も拡がりました。

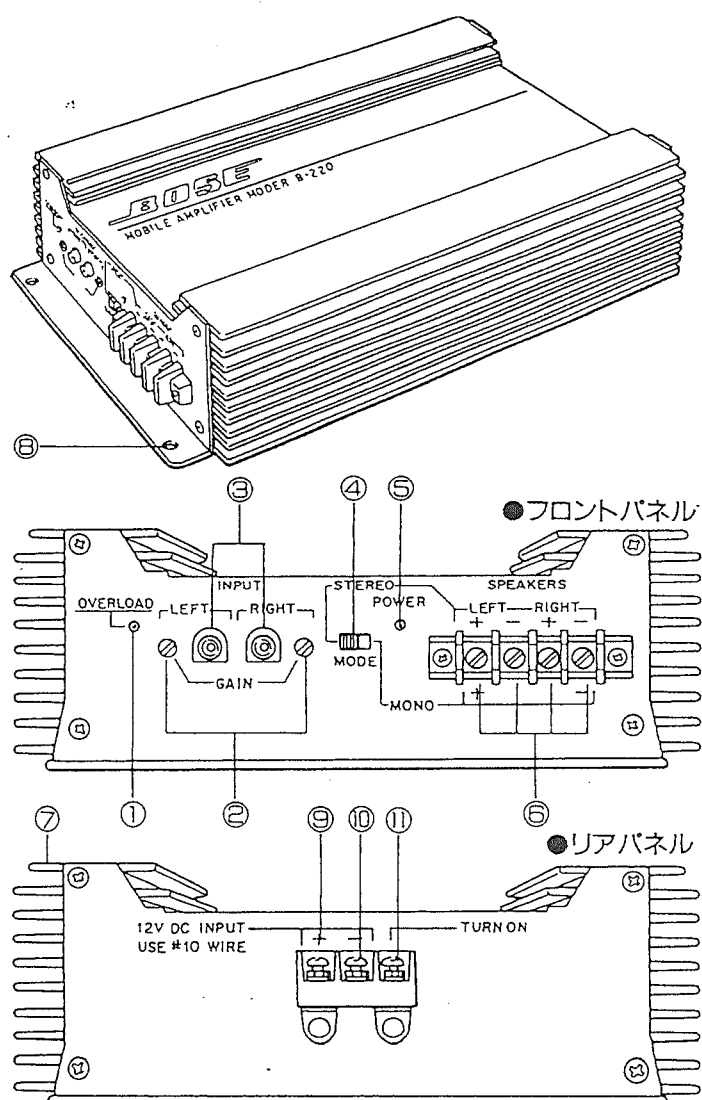
●アンプやスピーカーの破損を防ぐ保護回路内蔵

アンプ内部の温度上昇やスピーカーへの過大入力などによる破損を防止するプロテクター回路が内蔵されています。

開梱について

もし、開梱時に損傷、不良箇所などが発見された場合や、内容物が不足している場合は、そのままの状態を保ち、ただちに取扱店に連絡してください(損傷している状態では絶対に使用しないでください)。
また、製品を取り出した後のカートンおよびパッキンは、後日の輸送等の時のために保管しておくことをおすすめにます。

●内容物は

★B-220本体☆付属品：ラグ付アースコード…１本・スピーカーコード用ラグ…４個・主電源ワイヤー用ラグ…１個・リモートワイヤー用ラグ…１個（付属品はひとつの梱包になっています）

各部の名称とはたらき

●フロントパネル

①オーバーロード・インディケーター…過大な入力時に赤ランプが点滅し、回路を保護します。

②入力レベル調整つまみ…ヘッドユニットの出力レベルによる違いを調節します。

③入力端子(RCAピンジャック)…ヘッドユニットの出力を接続します。

④ステレオ／モノ切り換えスイッチ…ステレオで使用するか、モノラルで使用するか、モードにあわせてスイッチ操作で切り換えます。

⑤パワーインディケーター…電源が入ると緑のランプが点灯します。

⑥スピーカー出力端子(ハーモニカ端子)…スピーカーと接続します。

⑦ヒートシンク

⑧本体取り付け固定穴

●リアパネル

⑨電源接続端子(ハーモニカ端子)…バッテリーの⊕と接続します。

⑩グラウンド端子(ハーモニカ端子)…付属のラグ付コードを使って車体などに接続します。　　　な

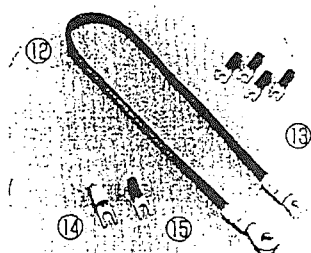
⑪リモート端子(ハーモニカ端子)…ヘッドユニットのリモート出力を接続します。

●付属品

⑫ラグ付アースコード…１本　B-220のグラウンド端子と車体に接続します。

⑬スピーカーコード用ラグ…４個　B-220にスピーカーを接続する際に、スピーカーコードに取り付けます。

⑭主電源ワイヤー用ラグ…１個　B-220にバッテリーからの電源を接続する際、接続コードに取り付けます。

⑮リモートワイヤー用ラグ…１個　B-220にヘッドユニットのリモート出力を接続する際、接続コードに取り付けます。

取り付けについて

B-220の取り付け作業は、お買い上げいただいたお店、またはカーディーラーにまかせることをおすすめします。
ご自分でお取り付けになる場合は、下記の事項をご参照ください。

●本体マウント
本機は4点支持マウント方式をとっております。車内での振動、衝撃などにも耐えるため、必ず4点すべてを固定してください。

取り付け場所は、温度が上がるエンジンルームは避け、また防火壁やヒーターダクトから離れた場所を選んで取り付けてください。取り付けスペースを広くとっていただけると、配線やゲイン調整が容易です。

接続について

電源、スピーカー、ラインケーブルの引き回しを行います。接続を行う際は下記の点に注意してください。結線については、別紙の配線図もご参照ください。

●ショートを防止するため、接続を行う際はカーバッテリーの⊖端子を外してください。
●コードはすべてパネル、カーペットの下を通し、目に見えないように配線してください。
●ノイズの発生を防止するために、スピーカーコードと電源コードは一緒にまとめ、ラインケーブルとは離して配線してください。
●金属部を通す場合は、ショートを防止するために、ゴム製グロメットを使用することをおすすめします。
●本機との接続側のコードには、必ず付属のラグを使用し、接続してください。末端を未処理のまま接続しますと、接触不良の原因となります。

■電源系の結線

●B-220リアパネルの電源端子⑨とカーバッテリーの⊕端子を電源コードで接続します。この際、電源端子に接続するワイヤーには、付属の主電源ワイヤー用ラグ⑭を装着します。
※また、B-220には30Aのヒューズが内蔵されていますが、万一のために、電源端子とカーバッテリーの⊕端子との間に30Aのヒューズを入れることで完全な保護ができます。
●アースは付属のコードを使用し、ラグ側を本機リアパネルのグラウンド端子⑩に、もう一方を車体に接続します。この際、アースコードはできるだけ短くとることが、低ノイズ、ハイファイ再生のポイントです。

■リモートオンの結線

●B-220リアパネルのリモート端子⑪は、使用するチューナー、デッキのパワーアンテナコントロールと接続し、本機電源のON/OFFのコントロールを行います。この際、リモート端子に接続するワイヤーには、付属のリモートワイヤー用ラグ⑮を装着します。
●使用するチューナー・デッキにパワーアンテナコントロール出力が無い場合は、車側のACC電源につないでください。

■スピーカーの結線

スピーカーコードをB-220フロントパネルのスピーカー端子⑥に接続する際は、必ず付属のラグ⑬を装着してください。

●ステレオで使用する場合
本機スピーカー出力端子⑥とスピーカーを接続します。この際、左チャンネル(LEFT)・右チャンネル(RIGHT)とスピーカーのL・R、⊕・⊖の極性を十分確認して接続してください。

●モノラルで使用する場合
本機スピーカー出力端子⑥の外側の2つの端子(LEFTの⊕とRIGHTの⊖)とスピーカーを接続します。この際、⊕・⊖の極性を十分確認してください。
※B-220は2Ωスピーカーのドライブも可能ですが、使用される場合は特に通気の良い場所に本機を設置してください。

■ライン信号ケーブルの結線

デッキからの信号をB-220のフロントパネル入力端子③に接続します。この際、入力端子の左チャンネル(LEFT)・右チャンネル(RIGHT)とデッキ側のL・Rを十分確認して接続してください。

システム調整について

システムの調整を行う前に配線の再確認を行ってください。すべてのネジ類、接続コード類がしっかり装着されているか、確かめてください。
装着が完全なことが確認できたら、車のキーを“ACC”の状態にします。

■音出し確認

A. すべてのシステムのボリュームを絞ります。(本機の入力レベル調整つまみを含む)
B. チューナー、デッキのスイッチをONにします。この時バランスとフェーダーコントロールは中央にセッティングします。
C. 本機のパワーインディケーター⑤が緑に点灯しているか、確認します。
D. ゆっくりデッキのボリュームをあげて、左右のスピーカーから音が正常にでているか、確認します。

■適性レベルの設定

●B-220をステレオで使用する場合(ステレオ/モノ切り換えスイッチ④はステレオ(STEREO)にします)
E. デッキのバランスを片チャンネル側(L・Rいずれか)に設定し、ボリュームを75〜80%程度まであげます。
F. 設定したチャンネルと同じ側の本機の入力レベル調整つまみ②を徐々にあげて、スピーカーが歪まず、十分満足できる音圧が得られる箇所に設定します。
G. もう一方のチャンネルについても同様に設定作業を行います。

●B-220をモノラルで使用する場合(ステレオ/モノ切り換えスイッチをモノ(MONO)にします)
本機の入力レベル調整つまみ②は、右チャンネル(RIGHT)側だけで調節します。

以上を行ったうえで、問題が生じた場合は、トラブルシューティングを参照してください。

トラブルシューティング

下記に示す症状はプロテクト機能が働いて生じたものです。あてはまる原因を確かめて、その対策および処理に従ってください。

症　　状	原　　因	対策および処理
パワーインディケーターが消えて、オーバーロードインディケーターが点灯し、30秒間動かなくなる。	指定のインピーダンス(2Ω～16Ω)以外のスピーカーを使用した時。または、ショートした場合。	自動的に電源が入り、正常に作動を始めますが、使用スピーカーを変更しない限り、この動作を繰り返します。 結線を確かめてください。正常であればスピーカーの適合インピーダンスを確認し、不適合であれば交換します。
	スピーカー端子に直流電流が流れこんだ時。(スピーカー端子に電源コードを接続してしまった場合)	自動的に電源が入り、正常に作動を始めますが、電源コードをつなぎかえない限り、この動作を繰り返します。 電源コードを正しくつなぎ直してください。
オーバーヒートしてパワーインディケーターが消え、オーバーロードインディケーターが点灯する。	本機が95℃以上になった時。	安全作業温度にもどるまでは作動しません。温度が正常にもどると自動的に電源が入り、作動復帰します。 でも常熱しやすい場所へ設置されていると再びオーバーヒートをおこすので、放熱の良い場所へ設置をし直してください。
インディケーターが両方とも点灯せず完全に止まる。	本機に過大電圧(17.2Vを超える電圧)が加わった時。 ※バッテリー電圧の正常値は12V。	車側のボルテージレギュレーターか、オルタネーターに欠陥がある場合が多いので、車のバッテリーを交換するか、ヘッドユニットのデッキを交換します。
本体内部のヒューズがとぶ。	電源の極性を誤ってつないだ時。	正常な使用でヒューズがとぶのはこの場合だけです。本体カバーを外してヒューズを交換します。

仕　様

対応インピーダンス	2Ω〜16Ω
最大定格出力	110W×2(ステレオ時　4Ω負荷) 275W(モノラル時　4Ω負荷)
最大出力レベル	25V(4Ω負荷)
S　N　比	110dB以上
全高調波歪	0.01%(20Hz〜20kHz 最大定格出力時)
混変調歪	0.004%
入力感度	200mV〜2V(調節可能)
周波数特性	10Hz〜100kHz
スルーレート	60V/μs(ステレオ時) 120V/μs(モノラル時)
ダンピングファクター	600以上(10Hz〜5kHz)
消費電流	最小500mA、最大22A
アイドル電流	50μA
ターンオンディレー	3秒
作動最大電圧	17.2V
作動最大温度	95℃
使用ヒューズ	30A
サイズ	216(W)×76(H)×350(D)mm
重量	4kg

保　証

通常の使用状態において発生した故障に関しては、1年の保証をさせていただきます。本機を分解したり、改造を行いますと、期間中でも保証が受けられなくなりますので、ご注意ください。

■BOSE BUDDY CLUB(BBC)へ入会ご希望の方は申込用紙にご記入のうえ、年会費600円の切手を添えてお申し込みください。

●製品規格及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品につきましては、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

ボーズ株式会社
〒150 東京都渋谷区渋谷1-20-1 三進ビル TEL03-499-0901